



2025年1月31日

各位

会 社 名 株式会社ダイセキ環境ソリューション  
代 表 者 名 代表取締役社長 山本 浩也  
(コード番号 1712 東証スタンダード市場・名証プレミアム市場)  
問 合 せ 先 執行役員企画管理本部長 丹羽 利行  
(TEL 052-819-5310)

### 新たな事業に関するお知らせ

このたび当社は、2025年1月31日開催の取締役会において、以下の通り新たな事業を進めることを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 新たな事業の趣旨

2022年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行され、プラスチック再資源化の社会的ニーズは拡大しております。当社は脱炭素やサーキュラーエコノミーの推進に貢献するため、2023年4月に「廃プラスチックの固形燃料製造事業(サーマルリサイクル)」を行う株式会社杉本商事の株式取得による連結子会社化を行い、プラスチック再資源化事業へ参入いたしました。

一方で、静岡市はこれまでのプラスチックごみの処理方法(焼却処理)を改め、プラスチック資源の再商品化(マテリアルリサイクル)実現を目指す方針であることを公表されました。当社は静岡市が募集する「プラスチック資源再商品化連携事業者(連携協定締結先)」に応募し、静岡市にとって最も優れている提案を行った「最優秀提案者」に選定され、2025年1月31日開催の取締役会において新たな事業を推進することを決議いたしました。

#### 2. 新たな事業の概要

##### (1) 新たな事業の内容

事業内容	「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」及び「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づき、静岡市が一般家庭から収集したプラスチック資源(一般廃棄物)を中間処理施設、再資源化施設にて再商品化を実施(図1参照)
再商品化の手法	・中間処理施設で不適合物等を除いた後に再資源化施設で再生ペレット等の製造を実施 ・事業系の廃プラスチックも処理する事により、総合的に静岡市の目指すCO <sub>2</sub> 削減に貢献(図2参照)
プラスチック資源 年間収集見込み量	市内プラスチック製容器包装 5,275 t/年 市内プラスチック製品 525 t/年 <b>合計 5,800 t/年</b> (財)日本容器包装リサイクル協会分や事業系の廃プラスチックを含め、 <b>年間約 2万 t + α</b> (産廃プラ)の処理を想定

事業実施場所	所在地：静岡市駿河区丸子 面積：30,331m <sup>2</sup> （2024年4月土地取得済み） 中間処理施設・再資源化施設(マテリアルリサイクル)・環境学習等を 目的とした教育研修室を同一敷地内に建設予定(図3参照)
--------	--



図1 当社の事業内容



図2 静岡市が想定される再商品化の手法(募集仕様書 p2 引用)

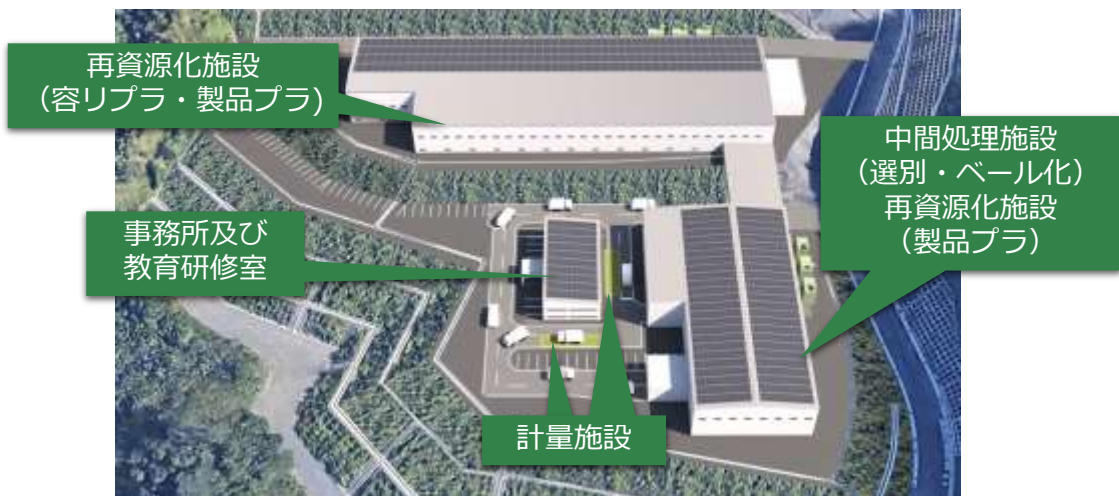


図3 事業計画地イメージ図

(2) 当該事業のために特別に支出する金額及び内容

- ・2024年4月に約16億円で取得した後、用途を検討しておりました事業用地（上記事業実施場所：静岡市駿河区丸子）につきまして、当該事業へ活用することを決定いたしました。
- ・当該事業で使用する施設の建設費用及び処理設備の導入費用等は、今後静岡市と協議の上仕様を決めていくため未定です。

3. 日 程

取締役会決議日	2025年1月31日
事業開始期日	令和10(2028)年度中の開始を基本とし、遅くとも令和12(2030)年度中

4. 相手先の概要

静岡市

5. 今後の見通し

静岡市と「プラスチックに係る資源循環の促進に関する協定」を締結し、プラスチック資源の再商品化の実現に向け、連携して取組を推進いたします。

本件による当社業績に与える影響につきましては、今後公表すべき事項が生じた場合は速やかに開示いたします。

以 上